

CF-C2 / FZ-G1 / FZ-M1 / CF-D1 シリーズ ハードディスクリカバリー修正ツール手順書

公開：2014年11月27日

本書では、ハードディスクリカバリー修正ツールの使用方法について説明します。

【ご注意】

- ・ ハードディスクリカバリー修正ツールを実行する際は、必ず「**コンピューターの管理者**」の権限のユーザーでログオンしてください。（ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにコンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。）

【お願い】

ハードディスクリカバリー修正ツールを実行する際には、以下の事項をお守りください。

- ・ AC アダプター、および十分に充電されたバッテリーパックを接続しておいてください。
- ・ 有線 LAN、無線 LAN、その他のネットワーク接続を切断してください。
- ・ USB 機器、その他の周辺機器はすべて外してください。
- ・ ハードディスクリカバリー修正ツール以外のアプリケーションソフトはすべてデータを保存して終了してください。

【ハードディスクリカバリー修正ツールの使用方法】

1. ハードディスクリカバリー修正ツールのダウンロードと展開

ハードディスクリカバリー修正ツールを実行するためには、まずダウンロードページに掲載されているプログラムをダウンロードした後、対象機種種の Windows 上で実行し、展開先フォルダにファイルを展開します。

掲載されているプログラム：

`fixhdrcv_v100110m01.exe`

- (1) ダウンロードしたプログラムをダブルクリックして（タッチスクリーンの場合はダブルタップして。以下同様）実行します。
- (2) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします（タッチスクリーンの場合はタッチします。以下同様）。
- (3) 使用許諾契約の画面が表示されますので、内容をよくお読みいただき、「はい」をクリックしてください。
- (4) 展開先フォルダを設定する画面が表示されます。展開先フォルダは、プログラムが自動的に作成しますので、特に変更する必要はありません。（変更する場合は、必ず、本体のハードディスク上のフォルダを指定してください。展開先フォルダは標準では「c:\util\2\fixhdrcv」が設定されています。）「OK」をクリックしてください。
- (5) しばらくして展開が完了すると、展開先フォルダが開きます。

2. ダウンロードしたハードディスクリカバリー修正ツールの実行

- (1) 1. で展開した展開先フォルダの [fixhdrecv]（拡張子を表示している場合は、fixhdrecv.exe)をダブルクリックします。
- (2) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。
- (3) 画面の案内にしたがって準備を行い、[OK]をクリックします。処理は数秒で完了しますが、その間、キーボード、タッチパッド、タッチスクリーンなどに触れずに、そのままお待ちください。
- (4) 「修正処理を正常に完了しました。」と表示されたら、[OK]をクリックします。

ハードディスクリカバリー修正ツールの実行は以上で完了です。

以上